

薬学生  
参加費  
無料



## 第17回日本薬局学会学術総会

P  
035-B

Kato 加藤薬局

### 「患者のための薬局ビジョン」実現に向けた、 かかりつけ薬剤師・「担当薬剤師」制度

佐藤良美<sup>1,2</sup>、山田哲也<sup>1,2</sup>、黒岩志穂<sup>1</sup>、田中智絵<sup>2</sup>、石井雅雄<sup>2</sup>、菊池秀樹<sup>2</sup>、岡本純一郎<sup>1,2</sup>、加藤耕次<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>(株)加藤、<sup>2</sup>(有)リベルテ

2023年10月8日(日) 9日(月)

会場：名古屋国際会議場

### 【目的】

2015年に発表された「患者のための薬局ビジョン」において、かかりつけ薬局が地域で暮らす患者本位の医薬分業の実現に取り組むことが求められた。加藤薬局グループにおいても地域のかかりつけ薬局となるべくかかりつけ薬剤師制度に対して積極的に取り組む必要がある。要件を満たしていない薬剤師においても将来的にかかりつけ薬剤師となり地域貢献できるということを見据えて、加藤薬局グループ独自の「担当薬剤師」制度を導入することとした。

### 【方法】



トークマニュアルを作成して受付時や投薬時に説明



薬剤師による違いを分かりやすく掲示



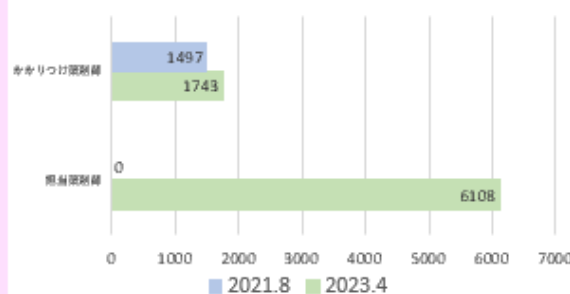
LINEを活用したお知らせ

投薬カウンターにPOPを付けて訴求



### 【結果】

「担当薬剤師」制度導入前後の比較



・「担当薬剤師」制度導入以前の2021年8月と導入後の2023年4月を比較するとかかりつけ薬剤師の患者数よりも「担当薬剤師」の患者数のほうが圧倒的に多い

・かかりつけ薬剤師制度を導入できない患者においても専属の薬剤師を持つことが可能となり、残薬調整やヒアリングがスムーズに行えるようになった

### 【考察】

- ・かかりつけ薬剤師の要件を満たす以前から専属薬剤師となることで、早期からより細かな服薬管理ができるようになると思われる
- ・要件を満たした際にはかかりつけ薬剤師への移行が可能で、より患者本位の医療の実現が可能になると思われる

よって「担当薬剤師」制度の導入はかかりつけ薬剤師の前段階として、十分に機能するものであり、より多くの患者にかかりつけ薬局・薬剤師として利用していただけるものだと考えられる

### 【テーマ】

## 「患者のための薬局ビジョン」 実現に向けた かかりつけ薬剤師・ 「担当薬剤師」制度

